



AWS オンラインセミナー

新聞・出版業界向け

コンテンツ制作・配信における
クラウド活用

～最新事例から知る業務効率化手法～

Amazon Web Services Japan K.K.



コンテンツの多様化とクラウド活用

Tomohiro Kamitani

Solution Architect

自己紹介

紙谷知弘(かみたにともひろ)

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

技術統括本部

エンタープライズソリューションアーキテクト本部

メディアビジネス部

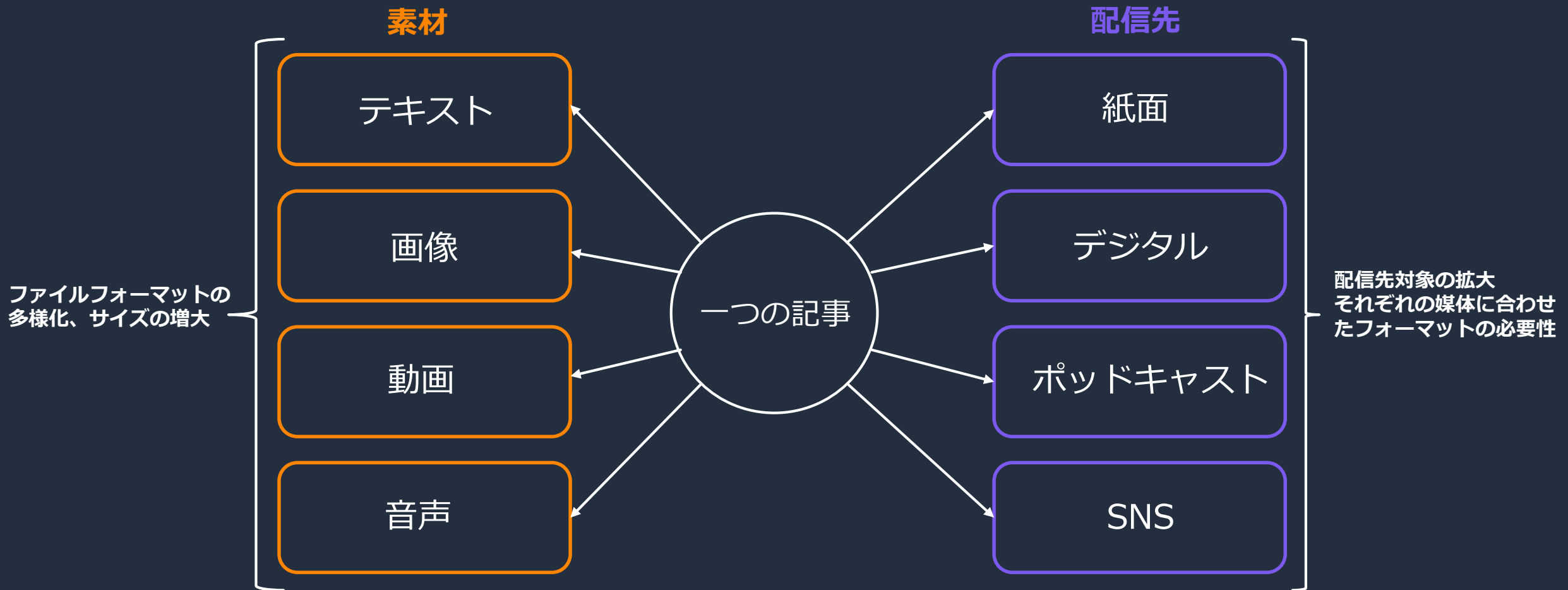
ソリューションアーキテクト

新聞・出版 業界を中心にお客様の技術支援を
させていただいております。



コンテンツの多様化は加速している

コンテンツの多様化



配信先、素材の多様化により業務負荷は高まっている

コンテンツの多様化によって起きうる課題例

素材の多様化による影響

- ファイルサイズの増大によりストレージの逼迫が発生し増強などの**メンテナンスコストの増加**
- ファイル数の増大により、検索性が低下し目的の素材にたどり着けず**生産性が低下**

配信先の多様化による影響

- 配信形態に合わせたファイルフォーマットを生成する必要があり、画像や動画などの変換処理数の増加により**工数 / システム負荷の増大**
- 新聞紙面 / デジタル向けに合わせた記事フォーマットや見出しの生成 / 校閲**対応工数の増加**

業務効率化を行いコンテンツの多様化に対応していかなければならない

業務の効率化のチャレンジ

- 業務の効率化は手探りで進めていくため機能要求や工数が未知数



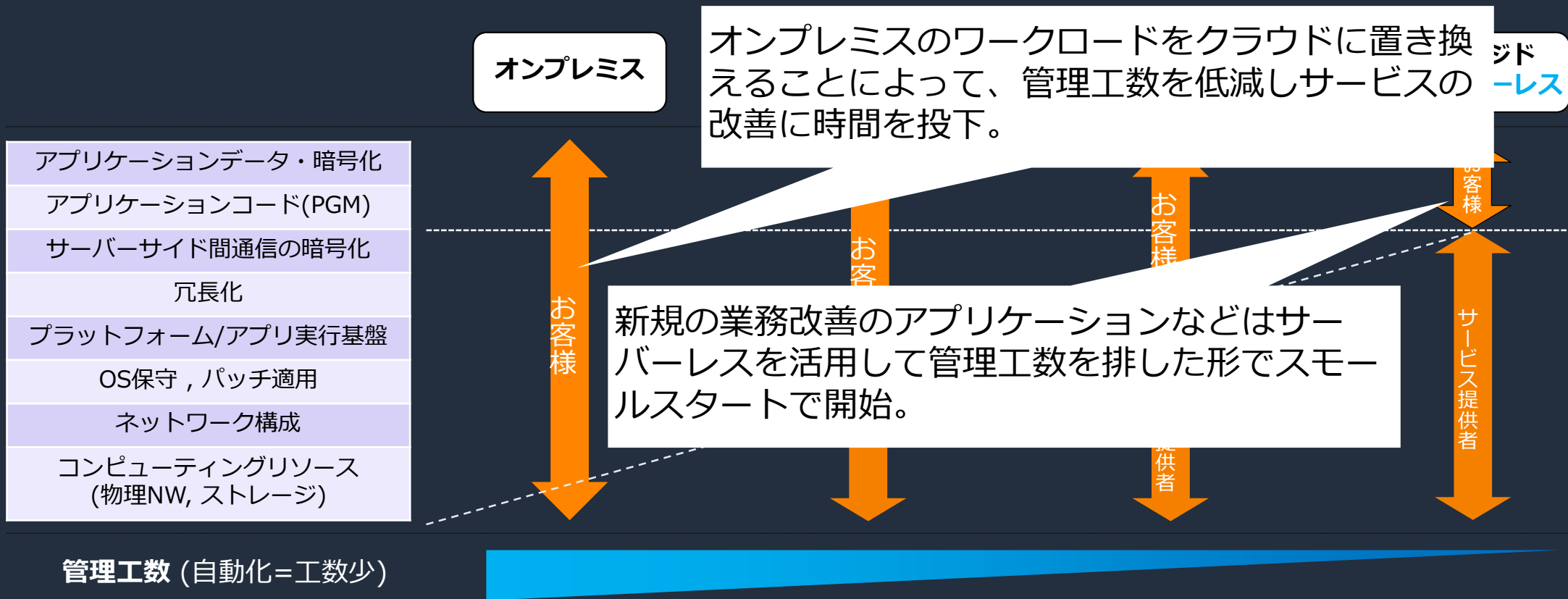
- マネージドサービスを利用して非機能要件にかかる労力を最小化
- トライアンドエラーをしやすいクラウド環境を活用

- 既存の資産や環境に引きずられると効率化がうまく進まない



- 必要な時に必要なだけクラウドを活用
- サーバーレスを活用したスモールスタート

クラウドを活用した業務効率化



AWSは多様なワークロードに対応



コンピューティング



モバイル



ARとVR



エンドユーザーコンピューティング



ストレージ



データベース



ネットワークとコンテンツ配信



AWS コスト管理



機械学習



IoT



ロボット工学



ビジネスアプリケーション



メディアサービス



分析



マネジメントとガバナンス



開発者用ツール



サーバーレス



アプリケーション統合



Game Tech



量子テクノロジー



カスタマイズインセンティブ



移行と転送



ブロックチェーン



セキュリティ・ID・コンプライアンス



人工衛星



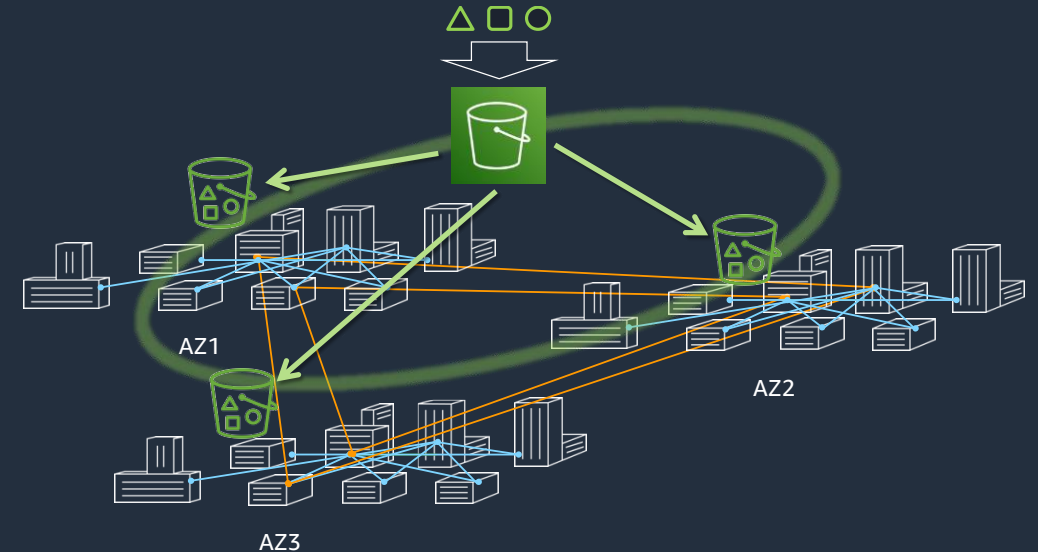
コンテナ

AWSを活用することによりコンテンツの多様化に対応可能

コンテンツの多様化対応に 役立つサービスを一部紹介

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)

- 容量のスケールビリティ (制限なし)
ストレージの拡張作業からの脱却
- 99.9999999999%(9×11)の耐久性
貴重なコンテンツ資産の消失を防ぐ
- AWSサービスとの柔軟な連携
**多様なAWSサービスと連携し業務効率
ワークフローを構築**



AWSのサーバーレスサービス

AWS Lambda

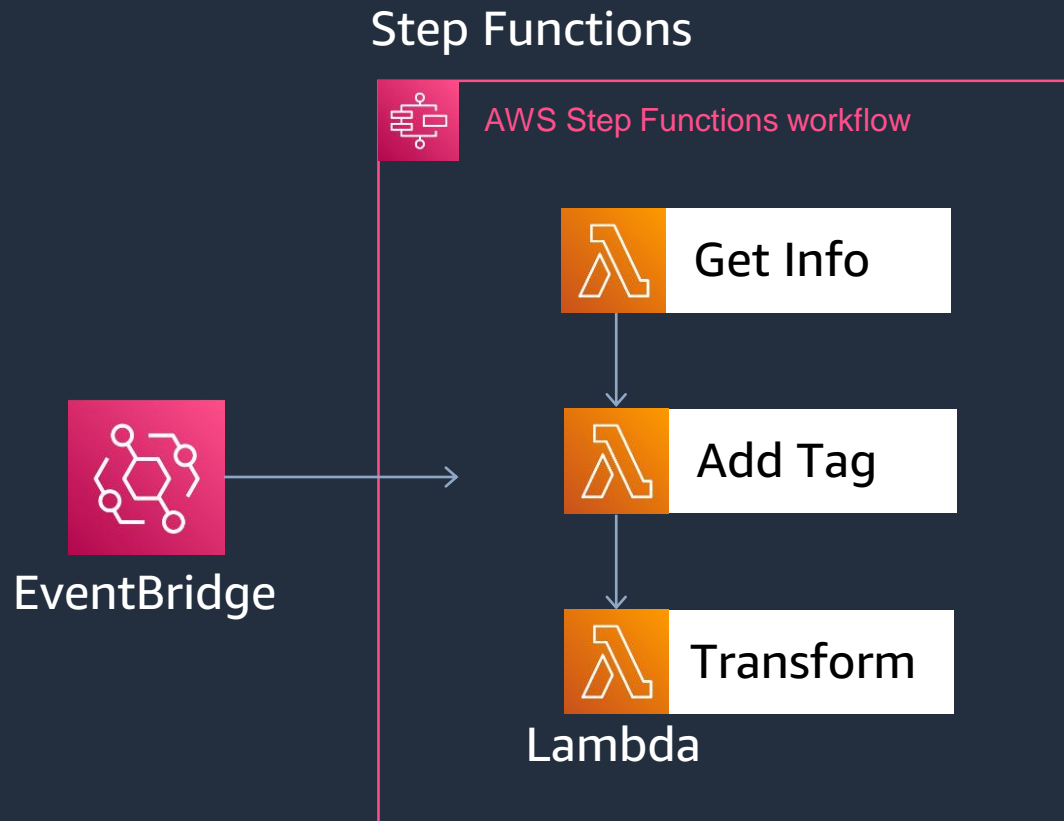
従量課金型のコンピュートサービス

AWS Step Functions

サーバーのプロビジョニング/管理なしでワークフローを管理できるサービス

Amazon EventBridge

イベントを使用してアプリケーションコンポーネント同士を接続するサーバーレスサービス



サーバー管理不要で柔軟なワークフローを構築

生成系 AI の活用

生成系 AI とは？

- 会話、ストーリー、画像、動画、音楽など、新しいコンテンツやアイデアを創造
- 一般に**基盤モデル（FM:ファウンデーションモデル）**と呼ばれる膨大なデータに基づいて事前にトレーニングされた大規模モデルを搭載
- 生成系 AI を活用して業務効率化を図ることができる



テキスト生成

要約

情報抽出

ソースコード生成

チャットボット

検索

AWSでの生成系 AI (Generative AI)

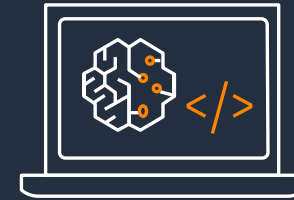
お客様の生成系AIの活用のために、
様々なサービスやインフラストラクチャを提供



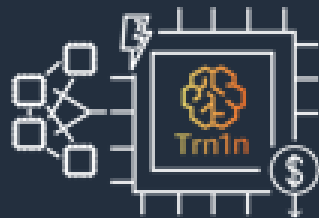
Amazon Bedrock



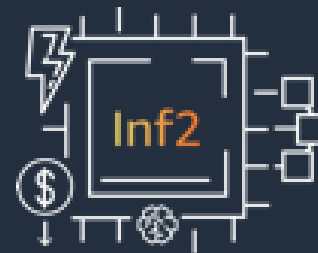
Amazon SageMaker
(SageMaker JumpStart)



Amazon CodeWhisperer



AWS Trainium

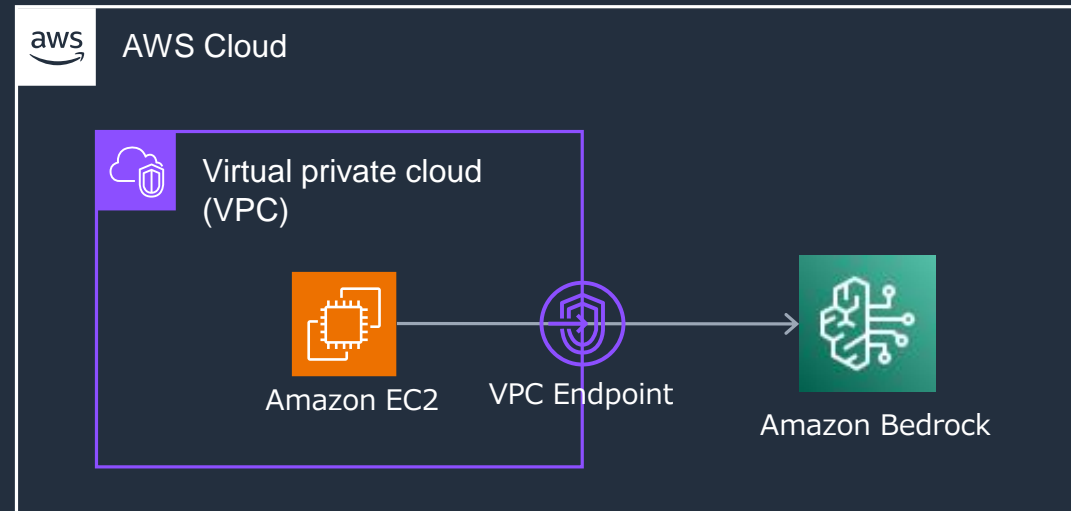
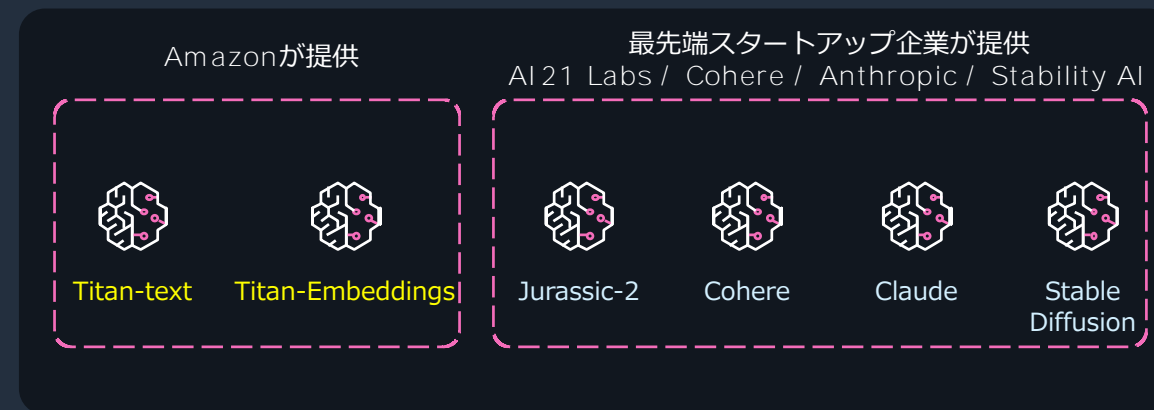


AWS Inferentia2

Amazon Bedrock

最も簡単に基盤モデル (FM) を使用して生成系 AI アプリケーションを構築およびスケール

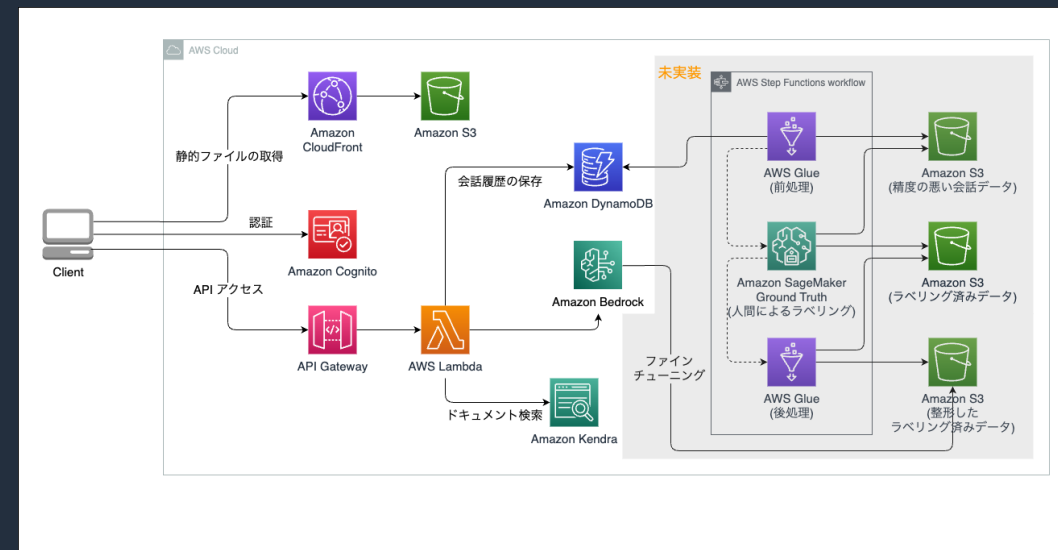
- 様々な基盤モデルをサポートし単一のAPIを通じてさまざまな基盤モデルにアクセス可能
- 独自のデータで基盤モデルを非公開でカスタマイズ(Fine-Tune)可能
- データセキュリティとコンプライアンスを実現
- AWSネットワークに閉じた形で利用可能 (VPCエンドポイントを利用)
- Playgroundsを通してコンソールから基盤モデルをお手軽に試せる
※ Playgroundsの利用には費用が発生します



Generative AI Use Cases JP

Generative AI を活用したビジネスユースケースをデモンストレーション

- Generative AI を活用したビジネスユースケースを手軽に試せるサンプルアプリケーション
- チャット、要約、メール生成、情報抽出、CS業務効率化のユースケースが体験可能
※ 2023/10/20時点
- AWS Cloud Development Kit (AWS CDK)によるデプロイで数ステップでデプロイ可能
- まずはどんなことができるのかこのアプリを通して体験し、生成系AIを業務改善に役立てていく



aws 生成系 AI を体験してみましょう。

デモ をクリックすることで、主要なユースケースを体験できます。

チャット

LLM とチャット形式で対話することができます。細かいユースケースや新しいユースケースに迅速に対応することができます。プロンプトエンジニアリングの検証用環境としても有効です。

デモ

要約

LLM は、大量の文章を要約するタスクを得意としています。ただ要約するだけでなく、文章をコンテキストとして与えた上で、必要な情報を対話形式で引き出すこともできます。例えば、契約書を読み込ませて「XXX の条件は？」 「YYY の金額は？」といった情報を取得することが可能です。

デモ

<https://github.com/aws-samples/generative-ai-use-cases-jp#generative-ai-use-cases-jp>

Generative AI Use Cases JP デモ

ツール

🏠 ホーム

💬 チャット

📄 要約

✉️ メール生成

🔗 CS 業務効率化

会話履歴

📄 フィボナッチ数を返すPython

📄 機能XはプランA必要

📄 AAAプラン更新のお願い

📄 値下げは現時点では困難

📄 AWS導入決定

📄 AWS導入支援のご提案

📄 Amazon Bedrock AIモデル活

📄 Pythonで再帰関数を使ってフ

📄 プラン変更が必要

📄 フィボナッチ数を返すPython

📄 シクリカル銘柄は景気変動に

リンク

🌐 Bedrock

🐙 GitHub

👉 サインアウト



生成系 AI を体験してみましょう。

[デモ](#) をクリックすることで、主要なユースケースを体験できます。

チャット



LLM とチャット形式で対話することができます。細かいユースケースや新しいユースケースに迅速に対応することができます。プロンプトエンジニアリングの検証用環境としても有効です。

[デモ](#)

要約



LLM は、大量の文章を要約するタスクを得意としています。ただ要約するだけでなく、文章をコンテキストとして与えた上で、必要な情報を対話形式で引き出すこともできます。例えば、契約書を読み込ませて「XXX の条件は？」 「YYY の金額は？」といった情報を取得することが可能です。

[デモ](#)

メール生成



LLM を活用することで、メールを作成する際の冗長なタスクを極力減らし、ルーチンワークにかかる時間を大幅に削減することが可能です。単に補完だけでなく、誤字脱字の防止という効果も期待できます。

[デモ](#)

情報抽出



文章を LLM に読み込ませることで、必要な情報を抽出できます。LLM は文章を的確に理解し、文体に気を使うことなく情報を抽出することが可能です。このデモでは、メール本文を読み込むことで、返信メールを生成する際に必要な情報を抽出します。

[デモ](#)

CS 業務効率化



お客様からの問い合わせに対して「OK」や「無理です」といった単純な返答から、「承知いたしました。直ちに対応いたします。」や「申し訳ございません。お客様のプランではその機能の有効化はできません。」などの表現への変換が可能です。

[デモ](#)

多様なサービスを組み合わせることで業務効率化を実現



AWS サービスの本質はビルディングブロック

サービスを組み合わせることで
業務効率化を推進

AWSを活用して業務改善をした お客様事例

The Guardian 社様

AWS Step Functionsを活用して購読者管理業務の効率化に成功

チャレンジ

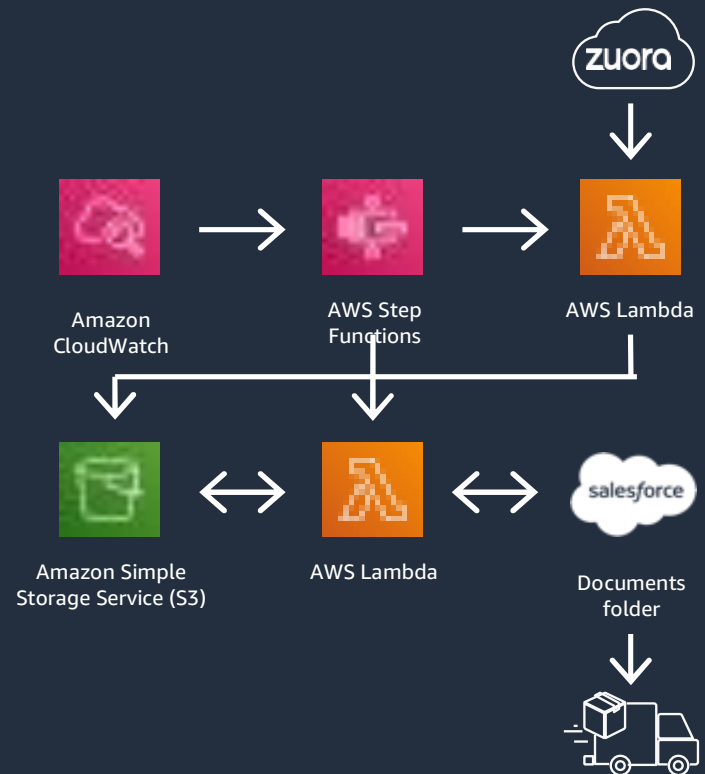
顧客データの保存を異なる分散システムに依存しており、複数の分散システム間のデータフローを調整するのが困難になっていた。そのため時間通りに新聞届かないなどの問題が発生していた。

ソリューション

AWS Step Functionsを活用することで複数のシステム間のワークフローの効率的なオーケストレーションを実現した。

結果

効率的にワークフローを管理できるようになったため顧客データを継続的に更新して正確に保つことができ購読者に一貫した時間通りの新聞の配達が可能になった。



Aller 社様

Amazon Rekognitionを活用した画像の自動タグ付け

チャレンジ

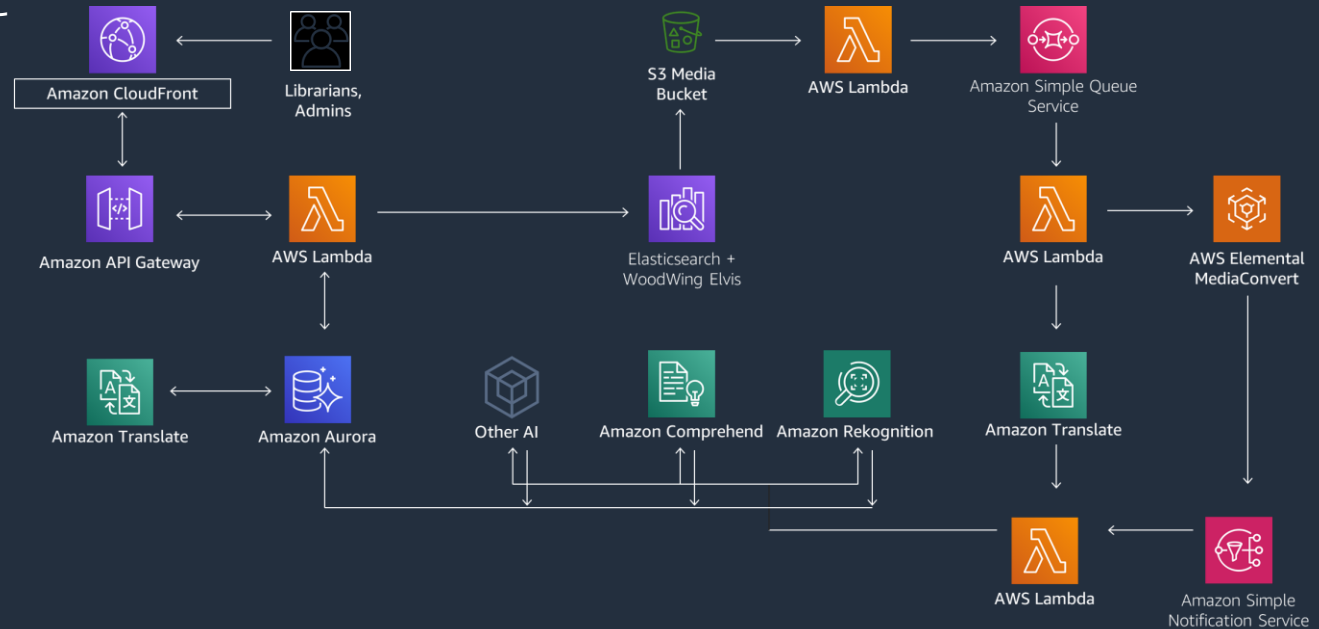
写真素材の再利用や販売を増やすためには写真のタグ付けを改善する必要があり、1300万枚の写真にすばやく、コスト効率よく自動タグ付けする方法を探していた。

ソリューション

画像のタグ付けに Amazon Rekognitionを使用することを決定。またユーザーのコメントの感情分析に Amazon Comprehendを利用。

結果

タグ付けのコストが画像一枚あたり3.85ユーロから0.12ユーロに削減された。クラウドの活用により継続的な改善が可能になり、動画のタグ付けにも利用することを決定した。



まとめ

- コンテンツの多様化により対応範囲の幅が広がり業務負荷が高まる傾向にある
- 業務負荷の低減のために既存の業務を見直し業務改善を進めていく必要があるが、業務改善は手探りである
- 業務改善を進めるためにはトライアンドエラーがしやすいプラットフォームが必要

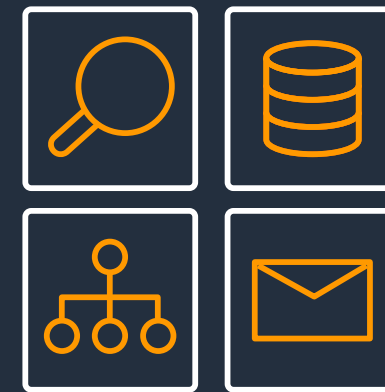
クラウドの真価とは価値創造に集中できること



スモールスタートで
すぐに使い始められる



必要なときに必要なだけ
使うことが可能



アイデアから
実装までの時間を短縮

クラウド活用によって業務効率化の推進に注力



Thank you!